

2019年度（令和元年度）アジア大気汚染研究センター（ACAP） 一般公開開催報告

2019（令和元）年7月31日（水）に、毎年恒例の一般公開を開催しました。

今年度は“今年の夏はACAPで実験しよう！”をテーマに、小学校4年生以上の児童39名（付き添いの方を含めて71名）にご来場いただきました。

参加者は、ACAPの活動、アジアの国に降る酸性雨の違い、PM2.5などの大気汚染、土壌微生物の働き、大気汚染物質の排出状況、大気汚染の予測を行うシミュレーションモデル、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)、国際協力について学習しました。

また、土、雨水、pH試験紙を用いた実験を通し、地球の力により酸性雨が緩衝や風化を経て中和されることを実感しました。

その他、新潟県環境保全事業団の呼びかけにより、「COOL CHOICE」*1に68名賛同登録いただき、地球温暖化防止やリサイクルの重要性について理解を深めました。

*1: 環境大臣を長とする『クール・チョイス推進チーム』を軸に実施されている国民運動。2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組。



ACAPの活動について



大気汚染について



記念写真



ブースを廻ってクイズラリー



実験用サンプル作り
(花火の煙を PM2.5に見立て水(雨)と混ぜる)



酸性度が強い雨が降る国や
雨の収集方法について



ちりと PM2.5の大きさを顕微鏡で比較



土壌微生物の働きにより二酸化炭素が発生



大気汚染の予測(シミュレーション)について



持続可能な開発目標 (SDGs)について





弱酸性の水に土や炭酸カルシウムを混ぜた後、ろ過して pH を測ると中和されることを確認



参加証の授与



ご参加いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。私たちの一般公開が大気汚染・酸性雨をはじめとする環境問題を考える良いきっかけとなれば幸いです。

来年も夏休みの同時期に開催を予定しておりますので、次回またお会いできますことを、ACAP スタッフ一同、心よりお待ちしております。